

ツンドラ タイガ

NO. 58

2023. 2. 28

3年ぶりのすべりやツアー (1/21・22 めいほう)

久しぶりにすべりやのスキーツアーを開催することができました。2020年2月に木曾福島に行って以来、3年ぶりです。参加は3名（中岡大・凧とシュカブラの辻本美保さん）だけとなりましたが、スキー教程の確認もしながらいっぱい滑ってきました。（見えにくいかと思いますが、写真奥の山は右が御嶽山、左が乗鞍岳です。北アルプスも見えていました。）



凧、今年も国体へ

2月14日から19日の日程で、岩手県八幡平市安比高原スキー場で行われた冬季特別国民体育大会に和歌山県代表として参加してきました。昨年に引き続き2度目の出場です。今年のコースは昨年の花輪スキー場に比べると、斜度もバーンのかたさも難しいものではありませんでした。当日は、柔らかい雪の影響もあり、コース整備が多く行なわれたことで、予想していた時間よりもだいぶ出走が遅くなり、うまくタイミングをつかむのが難しかったです。

自分の番が近づくとつれて、少しずつ緊張はしてきましたが、昨年よりは緊張していなかったの、ある程度自分の滑りができると思い、出走しました。しかし、実際に滑り始めると、頭からポールに入り、内倒してしまい、板のエッジが外れず、ターンがどんどん遅れてくるということがおこり、まったく普通の滑りをする事ができませんでした。何とかゴールはできましたが、終わってタイムを見るとトップとは20秒以上の差が開き、動画を見ても、本当によくないすべりをしていて、とてもショックを受けました。タイム差以上に普通の滑りができなかったことがすごく悔しかったです。



来シーズンどれだけスキーができるかわかりませんが、今回の滑りを忘れず、しっかりと緊張感を持ちながら練習に励みたいと思います。またトレーナーの方に身体の硬さを指摘され、身体がほぐれるとすべりも大きく変わるといわれたので、その点も意識しながら、よりよい滑りに向けて練習していこうと思います。（中岡凧）

全国競技大会に出場

2/25・26、湯ノ丸高原で開かれたスキー協の全国大会に中岡凧・中岡大が参加しました。SAJ会員の吉田政司さんも昨年に続き参加してくれました。（詳細は「和歌山スキー協通信」で）